

みなさまへ

本日、「NO MORE! 受動喫煙」プロジェクト発足記者会見に出席できず、お手紙にて失礼をいたします。

ご存知のことと思いますが、私は先日、乳がんとの診断を受けました。

きっかけは、今年5月に放映されたテレビ番組で健康診断を受ける企画があり、そこでCTスキャンをとったところ腫瘍が2つ見つかり、乳がんと診断されました。

私のがんは少し大きかったので左の胸を全摘出しなければなりません。

覚悟はしていましたが、その事実を聞いた時、とてもショックで言葉が見つかりませんでした。家族にどう伝えたらいいんだろう。どんな顔をするだろう。そんなことを考えながら家に帰り、家族の顔を見た途端、涙が溢れて止まりませんでした。

その様な中、邦子さんのことをふと思い出しました。

邦子さんも私と同じ様に乳がんとなりましたが、病と向き合い、克服し、今は元気にご活躍され同じ病気の仲間だけではなく、弱い立場の方々に希望と元気、勇気を与えていらっしゃいます。邦子さんは、今や癌は克服できる病、治る病だということを身をもって多くの人たちに知らせてくれています。

私も今は、自分の現状を冷静に受け止めています。

信頼できるお医者様のもとで治療をし、早く元気な姿で皆さまにお会いしたいと思っています。事務所からは、「70までは代表曲のHEROを現役で歌ってもらいますよ」と言われました。今まで私が歌に支えられていたのであれば、これからは邦子さんと同じように歌で誰かの命を支えたい、元気づけたいと思っています。誰もが誰かの「HERO」になれるんです。

「NO MORE! 受動喫煙」プロジェクトの目的は、受動喫煙を防げば守れるはずの命があることを、多くの皆さまに知っていただき、がんで苦しむ人、悲しむ人たちをこれ以上増やさないためのプロジェクトだと聞いています。

私も、一生懸命乳がんに向かいます。

早く元気な姿を皆さまにお見せできるよう頑張ってます。皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。

2017年6月20日

舟倉未稀